



# Cisco Unified Videoconferencing Connector のプリファレンスの設定

Cisco Unified Videoconferencing Connector プラグインは、Cisco Unified Videoconferencing Desktop Server および IBM Lotus Sametime と連携して動作します。新しい参加者を Cisco Unified Videoconferencing Connector 会議に招待できるようにするには、Cisco Unified Videoconferencing Connector の設定を行う必要があります。ただし、受信した会議の招待を受け入れたり、他のユーザが作成した会議に参加したりする場合は、これらの設定を行う必要はありません。

ユーザまたはシステム管理者が Cisco Unified Videoconferencing Connector プラグインをインストールすると、Sametime ユーザ インターフェイスに Cisco Unified Videoconferencing Connector の [Preferences] ページが表示されます。[Preferences] ページを使用して、Cisco Unified Videoconferencing Connector の設定を行います。

- 「[Cisco Unified Videoconferencing Connector 接続の設定](#)」 (P.1-1)
- 「[永続的な会議室の設定](#)」 (P.1-2)
- 「[Sametime での会議の表示方法の選択](#)」 (P.1-3)

Cisco Unified Videoconferencing Connector プラグインのインストールについては、『Installing and Configuring the Cisco Unified Videoconferencing Desktop Connector Plug-In』を参照してください。

## Cisco Unified Videoconferencing Connector 接続の設定

ここでは、Sametime と Cisco Unified Videoconferencing Connector 間の接続を設定する方法について説明します。

### 手順

- ステップ 1** Sametime Connect ユーザ インターフェイスで [File] > [Preferences] を選択します。
- ステップ 2** 左側のパネルで [Video Meeting] リンクを選択します。
- ステップ 3** [Server] フィールドに デスクトップ アドレスを入力します。  
このサーバは、ユーザが開始する Cisco Unified Videoconferencing Connector 会議をホストします。
- ステップ 4** セキュア会議のために HTTPS を指定して デスクトップ が設定されている場合は、[Use a Secure Connection (https)] を選択します。
- ステップ 5** [Test Server] を選択してメッセージを デスクトップ に送信し、サーバが実行中であること、および設定が正しいことを確認します。

- ステップ 6** (任意) IBM Lotus Sametime Connect がプロキシ サーバと連動して動作するように設定されている場合に、その設定を変更するには、次の手順を実行します。
- a. [Proxy Settings] リンクを選択します。
  - b. [Use the Sametime default community proxy settings] を選択します。  
または  
[Use custom proxy settings] を選択してプロキシ ホスト、ポート、セキュア接続、および認証情報を入力します。
  - c. [OK] を選択して、[Video Meeting] 画面に戻ります。
- ステップ 7** [OK] を選択して、プリファレンスを保存します。
- 

#### 関連トピック

- 「永続的な会議室の設定」(P.1-2)
- 「部屋番号なしの会議室の設定」(P.1-3)

## 会議室の設定方法

Cisco Unified Videoconferencing Desktop Server では、作成する Cisco Unified Videoconferencing Connector 会議用に設定した会議室が使用されます。会議を退席しても、すべての会議参加者がこの会議を退席するまで、会議は会議室で引き続き実行されます。

- 「永続的な会議室の設定」(P.1-2)
- 「部屋番号なしの会議室の設定」(P.1-3)

## 永続的な会議室の設定

同じ仮定の部屋番号を常に使用するよう Cisco Unified Videoconferencing Connector を設定することで、永続的な会議室を設定できます。部屋番号は、会議に使用されるサービス プレフィックスと、その後 Cisco Unified Videoconferencing Connector で使用されるメッセージ ID が続きます。

#### はじめに

- システム管理者からサービスアクセス プレフィックスを取得します。
- ご使用の Cisco Unified Videoconferencing Desktop Server が動作するよう設定されているサーバに関する情報についてシステム管理者に問い合わせます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** Sametime Connect ユーザ インターフェイスで [File] > [Preferences] を選択します。
  - ステップ 2** 左側のパネルで [Video Meeting] リンクを選択します。
  - ステップ 3** [Use your virtual room number] を選択します。
  - ステップ 4** この会議に使用する会議室を [Room Number] フィールドに入力します。
  - ステップ 5** (任意) 部屋が PIN で保護されている場合は、[Meeting PIN] フィールドに会議の PIN を入力します。

**ステップ 6** [OK] を選択して、プリファレンスを保存します。

---

## 部屋番号なしの会議室の設定

部屋番号なしの会議室を設定すると、Cisco Unified Videoconferencing Connector によって、デスクトップ会議に使用する会議 ID を入力するよう求められます。Cisco Unified Videoconferencing Connector を起動するたびに、会議室番号を設定するよう求める [Meeting ID] ダイアログボックスが開きます。

### 手順

---

- ステップ 1** Sametime Connect ユーザ インターフェイスで [File] > [Preferences] を選択します。
  - ステップ 2** 左側のパネルで [Video Meeting] リンクを選択します。
  - ステップ 3** [Always prompt for a meeting ID] を選択します。
  - ステップ 4** [OK] を選択して、プリファレンスを保存します。
- 

## Sametime での会議の表示方法の選択

次のいずれかの表示オプションを選択できます。

- [Embed the Cisco Unified Videoconferencing video meeting in Sametime client] : 会議インターフェイスを Sametime クライアント内に表示します。
- [Launch the Cisco Unified Videoconferencing video meeting in separate window] : 会議インターフェイスを別のウィンドウで開くことができますようにします。別のウィンドウ モードを使用して、部屋システムのアプリケーション共有とチャットに デスクトップ を使用します。
- [Call the specified number] : 部屋システムを会議デバイスとして使用します。会議に招待するサードパーティの部屋システムのアドレスを設定します。IP アドレス、E.164、または SIP URL を部屋システム アドレスとして使用できます。部屋システム アドレスは、MCU で有効でなければなりません。

### 手順

---

- ステップ 1** Sametime Connect ユーザ インターフェイスで [File] > [Preferences] を選択します。
  - ステップ 2** 左側のパネルで [Video Meeting] リンクを選択します。
  - ステップ 3** 関連するオプションを選択します。
  - ステップ 4** [Call the specified number] オプションを選択した場合は、有効なアドレスを入力します。
  - ステップ 5** [OK] を選択して、プリファレンスを保存します。
-

